

令和5年大井町議会第4回定例会

一般質問書

令和5年12月

通告順	質 問 事 項	質問者	(分)時間	頁
1	・相和地区の今後の発展について	黒岩陣太郎	4 0	1
2	・空き家問題及び所有者不明土地（建物）問題について ・観光施策について ・ジビエ処理加工施設について	鈴木磯美	6 0	2
3	・町の防災・防犯・交通安全を問う	岡田幸二	6 0	3
4	・誰もが安心して暮らせるまちづくりについて	清水亜樹	6 0	4
5	・今後の地域公共交通のあり方について ・公共施設の有効活用について ・物価高騰対策について	伊藤奈穂子	6 0	5
6	・視覚障がい者も権利を主張できるまちづくりの推進について ・教育現場における I C T機器の活用、更新について	重田有紀	6 0	6
7	・安心・安全な学校給食について ・学校施設の木を守り育てる取組について	大石 舞	6 0	7
8	・企業誘致と観光の拠点化構想について	田中正彦	6 0	8
9	・国を挙げて働き方改革を実施しているが、町への影響について ・大井町役場のガバナンス体制について	牧野一仁	6 0	9

質問者	通告1番	通告時間 40分
	2番 黒岩 陣太郎 議員	答弁者 町長・教育長
質問事項	相和地区の今後の発展について	
要 旨	<p>大井町第6次総合計画前期基本計画の中間年度にあたる今、少子高齢化社会への対応が最重要課題となっている。とりわけ、相和地区における人口減少や少子高齢化は著しく、課題が山積していることから以下について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 おおいゆめの里周辺における観光拠点の展望は。 2 公共交通をはじめとする生活基盤の充実は。 3 相和幼稚園跡地の利活用に関する展望は。 4 そうわ会館における11月14日の電話回線不具合の経過と対応は。 	

質問者	通告 2 番	通告時間 60分
	8 番 鈴木 磯美 議員	答弁者 町 長
質問事項	1 空き家問題及び所有者不明土地（建物）問題について 2 観光施策について 3 ジビエ処理加工施設について	
要 旨	<p>1 少子高齢化の現状が継続することを前提とすると、今後も日本の総人口は減少する見込みと政府の統計結果が出ている。また、世帯構成も変化し、さらに空き家が増加する見通しである。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 空き家の現状は。 (2) 所有者不明土地（建物）の現状は。 (3) 今後の課題と対策は。</p> <p>2 新しい関係人口の拡大や観光庁が進める「第2のふるさと」づくり等、新たな交流市場の創出が地域活性化につながるとされている。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 観光施策の現状は。 (2) 今後の課題と施策は。</p> <p>3 ジビエ処理加工施設が広域で建設され、本格稼働が始まるが現在の進捗状況と今後の計画は。</p>	

質問者	通告3番 6番 岡田 幸二 議員	通告時間 60分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	町の防災・防犯・交通安全を問う	
要旨	<p>近年、大規模災害の発生が想定される中、10月に神奈川県主催のビッグレスキューが本町にて行われた。訓練をとおして、防災の見える化、また新たな課題も見えてきたのではないかと。</p> <p>また同月、にこにこパトロール隊情報交換会が実施され、子どもたちの安全・安心のために、町内での犯罪につながりかねない事象や交通事故の発生状況など共有が行われた。</p> <p>さらに、1月からは金子開成和田河原線のJR御殿場線立体交差部の工事開始により、大井小学校の一部の通学路の見直しが予定されている。</p> <p>そこで町の防災・防犯・交通安全について以下の点を問う。</p> <p>1 ビッグレスキューについて</p> <p>(1) 訓練実施を通しての新たな課題は。</p> <p>(2) ボランティアセンターの運営体制は。</p> <p>(3) ヘルメットをはじめ防災用品の整備状況は。</p> <p>2 にこにこパトロール隊について</p> <p>(1) ボランティアに期待することは。</p> <p>(2) 高齢化が進んでいるがその対策は。</p> <p>(3) ベスト・帽子に抵抗感を持つ方への対応状況は。</p> <p>3 通学路の見直し等について</p> <p>(1) 該当する地区での見直しの状況は。</p> <p>(2) 通学路の安全状況把握はできているか。</p> <p>(3) 自転車用ヘルメット補助の状況は。</p>	

質問者	通告４番 １２番 清水 亜樹 議員	通告時間 ６０分 答弁者 町長・教育長
質問事項	誰もが安心して暮らせるまちづくりについて	
要 旨	<p>本年度は、障がい者計画等の最終年度となっており、現在、次期計画の策定が進められていると思う。社会構造が複雑化する中、障がいのある人を取り巻く環境は大きく変化し、地域全体で支えていく地域共生社会の実現が求められている。そこで以下について伺う。</p> <p>１ 障がい者計画の基本目標の進捗について。</p> <p>(１) 福祉コミュニティの推進では、理解を深めるための啓発や教育、研修、人材の育成が挙げられているが取組みの状況は。</p> <p>(２) 地域生活の支援の充実では、各種福祉サービスの周知を図るとされているが取組の状況は。</p> <p>(３) 就労や社会参加の支援では、スポーツ・レクリエーション事業の推進とされているが取組の状況は。</p> <p>(４) 住みよい環境づくりでは、安全な歩行空間の確保や町営住宅の整備とされているが取組の状況は。</p> <p>(５) 子どもの健やかな発達の支援では、障がいの早期発見及び相談支援体制の強化、また早期療育に向けた支援を行なうとされているが取組の状況は。</p> <p>２ 障がい者の高齢期について</p> <p>(１) 養護盲・聾老人ホームの入所要件は。</p> <p>(２) 高齢者施設に入所している聴覚障がい者に対しての手話通訳派遣は可能か。</p>	

質問者	通告5番 13番 伊藤 奈穂子 議員	通告時間 60分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 今後の地域公共交通のあり方について 2 公共施設の有効活用について 3 物価高騰対策について	
要 旨	<p>1 本町にとって望ましい公共交通網のすがたを明らかにするとともに地域旅客運送サービスの持続可能な提供を確保するため「大井町地域公共交通計画」が策定された。 どの世代も利用しやすく、安心して住み続けられる町づくりの実現が求められていることから以下について伺う。</p> <p>(1) 松田町が進める事業A I オンデマンド実証実験の本町における影響は。また、デマンド型交通の本格運行は。 (2) 今後、近隣自治体との広域連携の必要性は。 (3) 自動運転車やE V車の導入は。 (4) 持続可能な公共交通の実現には事業者支援が重要だと考えるが対策は。 (5) 互助輸送サービスの仕組みづくりは。</p> <p>2 相和幼稚園は2025年度末をもって閉園することが決定した。閉園後の跡地を有効活用すべきと考えるが見解は。</p> <p>3 長期に及ぶ物価高騰は家計や事業活動に深刻な負担を与えている。国の追加予算である「重点支援地方交付金」を活用し生活者、事業者に対してきめ細かい支援を早急に検討すべきと考えるが見解は。</p>	

質問者	通告 6 番 3 番 重田 有紀 議員	通告時間 60 分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 視覚障がい者も権利を主張できるまちづくりの推進について 2 教育現場における ICT 機器の活用、更新について	
要 旨	<p>1 本町は、視覚障がい者における意志疎通支援事業を導入していない。一方で、聴覚障がい者における手話通訳者派遣事業は実施され当事者団体の熱心な要望活動の結果事業は磨かれてきた。この点においては、両者の間に行政サービスの格差が生じていると言わざるを得ない。</p> <p>視覚障がい者は移動等困難障がい者に分類される。移動等困難障がい者とは、自身の障がいの特性に加え居住地域に「交通不便地域、空白地域」がある場合特に分類される傾向が強いとされている。地域公共交通のさらなる充実が求められる本町においては、より積極的な支援の構築が必要である。以上を踏まえ、以下のとおり伺う。</p> <p>(1) 視覚障がい者における意志疎通支援事業「代読・代筆支援」の導入は。</p> <p>(2) 同行援護の利用促進は。</p> <p>(3) 誘導ブロックの適切な設置は。</p> <p>2 G I G A スクール構想開始後、1 人 1 台端末の他様々な ICT 機器が各学校に導入されたが、感染拡大が緩やかになりオンライン授業の需要も減少し今後の活用方法が注目される。タブレット更新時期も迫る等、課題も見える中で本町の現状を伺う。</p> <p>(1) 1 人 1 台端末の更新計画は。</p> <p>(2) オンライン授業推進のための ICT 機器の活用と今後の展望は。</p>	

質問者	通告7番 1番 大石 舞 議員	通告時間 60分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	<p>1 安心・安全な学校給食について</p> <p>2 学校施設の木を守り育てる取組について</p>	
要 旨	<p>1 2022年度の公益財団法人日本学校保健会の調査によると、食物アレルギーを有する児童生徒は6.3%であり、52万6,705人であった。安心・安全な学校給食を全ての子どもに提供するため、町の対応が必要である。</p> <p>また学校給食のさらなる質の向上や、給食費無償化を求める立場から、以下について伺う。</p> <p>(1) 学校給食におけるアレルギー対応は。</p> <p>(2) 食物アレルギーを有する児童生徒への、アレルギー対応給食の提供状況は。また、みんなが食べられる対応給食の日を設ける考えは。</p> <p>(3) パンが食べられない児童生徒のご家庭に、代金を返還する考えは。</p> <p>(4) 国産小麦のパン提供は。</p> <p>(5) 安心・安全な地産地消食材の利用を、さらに進める考えは。</p> <p>(6) 学校給食費の無償化は。</p> <p>2 相和小学校の桜の木が伐採され、地域から惜しむ声が多く聞かれる。過去には同様に、大井小学校の樹木伐採も行われた。学校施設の木については、保護者や地域の思いを大切にし、児童生徒に対する教育的観点から保護・育成していくことが求められる。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 教育環境の充実として、学校施設の木を守り育てていく考えは。</p> <p>(2) 伐採後の木の再利用や、教育活動での利用は。</p>	

質問者	通告 8 番	通告時間 60分
	9 番 田中 正彦 議員	答弁者 町 長
質問事項	企業誘致と観光の拠点化構想について	
要 旨	<p>1 新型コロナによる行動規制が長く続く間、住民は生活スタイルだけでなく仕事に対する意識も大きく変容させて来ている。政府が進める働き方改革やワークライフバランスが重要視され、若者を中心に、より自由な働き方を選ぼうとする傾向が強くなっている中、今や地域活性化や新たな雇用の創出に直結する企業誘致について以下のとおり伺う。</p> <p>(1) 大井町が進めようとしている企業誘致の考え方は。</p> <p>(2) ここ数年間の実績と今後の予定は。</p> <p>2 いこいの村周辺の土地買収の際に、当該地区を観光の拠点化とする構想を考えているとの説明があったが、以下について伺う。</p> <p>(1) 観光の拠点化構想とはどのようなものか。</p> <p>(2) その進捗状況は。</p> <p>(3) 町全体に与える影響は。</p> <p>3 企業誘致及び観光の拠点化構想の練り上げに必要な情報発信等について、以下のとおり伺う。</p> <p>(1) 進出企業に有用な情報の収集と発信について、町としてどのように考えているか。</p> <p>(2) 観光の拠点化構想において、町の地域特性としての強み、弱み、将来に向けての機会と脅威をどのように捉えているか。</p>	

質問者	通告 9 番 1 1 番 牧野 一仁 議員	通告時間 6 0 分
		答弁者 町長・教育長
質問事項	1 国を挙げて働き方改革を実施しているが、町への影響について 2 大井町役場のガバナンス体制について	
要 旨	<p>1 政府は近年、働き方改革を進めており、その一環として 2 0 1 8 年 7 月 6 日に働き方改革関連法が公布され、順次施行されている。</p> <p>地方自治体の公務員にも影響があり、本町職員、教職員の実態や今後の取組について伺う。</p> <p>(1) 働き方改革関連法は、本町にどのような影響があるか。 (2) 働き方改革を推進するには業務の効率化や簡素化が必要と思うが計画はあるか。 (3) 職員、職場別の残業時間、有給休暇取得状況の実情は。 (4) 近年、若年職員の退職者が多いが理由と対策は。 (5) 管理職の休日出勤の取り扱いはどのようなものか。 (6) 小・中学校の働き方改革の実情は。</p> <p>2 近年民間での不祥事が話題となっており、対処方法が問題となっている。大井町役場のガバナンス体制について伺う。</p> <p>(1) 重要課題に対する意思決定において、定形的な決裁以外にどのような過程を経ているのか。 (2) 関連部署等との情報共有はどのように行っているか。</p>	